

## 平成 28 年度ジャパンリンクセンター運営実績

平成 29 年 3 月 31 日

ジャパンリンクセンター運営委員会

### 1. 委員会、分科会、メンバーミーティングの主宰、招集、事務<sup>1)</sup>

#### (1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を四半期に合計 4 回開催した。また、その議事要旨をジャパンリンクセンターの web サイトで公表した<sup>2)</sup>。

#### (2) 作業部会

作業部会を設置し、「ジャパンリンクセンター戦略 2017-2022」を策定した。

#### (3) 分科会

表 1 に掲げる分科会を設置し、委員会の審議を円滑に進めるため、同表に掲げる項目について審議を行った。

表 1. 平成 28 年度の分科会構成

分科会	審議項目
サービス企画分科会	(開催せず) <sup>3)</sup>
システム技術分科会	・ DOI Kernel Metadata に関する検討
DOI コミュニケーション分科会	・ 「入会説明会」、「メンバーミーティング」、「対話・共創の場」に関する企画 ・ 「ジャパンリンクセンター戦略 2017-2022」に関する検討

#### (4) メンバーミーティング

3 月 27 日にメンバーミーティングを開催した。

<sup>1)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項4号

<sup>2)</sup> ジャパンリンクセンターweb サイト 「JaLC について」 > 「JaLC 運営委員会」  
([https://japanlinkcenter.org/top/about/index.html#about\\_committee](https://japanlinkcenter.org/top/about/index.html#about_committee))

<sup>3)</sup> JaLC の中長期的なサービス企画は、作業部会における「ジャパンリンクセンター戦略 2017-2022」の検討において行ったため、実施はしなかった。

## 2. サービスの開発、運用および管理<sup>4)</sup>

### (1) サービスの開発

次の開発を行った。

表 2. 平成 28 年度の新規開発項目

項番	開発検討項目		内容
1	リンク付与機能の改善に向けた効果検証	データクレンジング	JaLC が保有するメタデータの品質を高めることにより、効果的に外部連携を行えるようにした。
2		フィージビリティスタディ	外部連携先から取り込んだメタデータの活用に係る効果の検証を行った。
3	機能拡張の検討		JaLC メタデータを RDF/XML 出形式のファイルで一括提供した。 PubMed 最新フォーマットへの対応を行った。

### (2) 運用

システム運用、ユーザサポート業務は、過年度に引き続き外部に委託して実施した。また、システムの安定稼働を目指し、2014 年 12 月にリリースした新システムの最適化を図るとともに、データ移行作業の再確認やデータクレンジングを行い外部連携するためのデータ品質の向上を図った。

<sup>4)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項2号

### 3. DOI 登録機関業務<sup>5)</sup>

#### (1) 入会対応等

過年度に引き続き、正会員の入会対応および準会員への DOI prefix の払い出しを行った。その結果、会員数、DOI 登録件数は、表 3 のとおりとなった。

表 3. 会員数および DOI 登録件数の推移

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
正会員数 (機関)	6	16	21	25	29
準会員数 (機関)	289	898	944	1,131	1,518
DOI 登録件数 (件)	1,808,203	2,168,180	3,023,504	3,189,377	3,697,027
(種別毎の内訳)					
・ 論文	-	-	2,789,095	2,937,916	3,410,477
・ 書籍、報告書	-	-	234,409	248,488	263,114
・ 研究データ	-	-	-	1,545	21,798
・ e ラーニング	-	-	-	1,427	1,628
・ 汎用データ	-	-	-	1	10

- ・ 正会員数、準会員数とも堅調な伸びを示している。正会員は公的研究機関、医学系の学会、民間出版社など多彩な機関で構成されており、また準会員は J-STAGE 参加学協会や、大学機関リポジトリ等から構成されている。
- ・ 各会員による DOI 登録が着実に進んでいる。平成 28 年度の大口の登録例としては、J-STAGE 利用学会の論文等約 40 万件、大学紀要を始めとする機関リポジトリに登録された論文等約 5 万件、正会員である医学中央雑誌刊行会が取り纏める医学系学術論文出版社の論文等約 1 万件への DOI 登録があった。
- ・ 新たな種別のコンテンツについては、国文学研究資料館の研究データ約 2 万件、NBDC の研究データ約 200 件、ライフサイエンス統合データベースセンター (DBCLS) の e ラーニングコンテンツ約 200 件の登録があった。また、NICT、国立極地研究所、国立環境研究所においても研究データへの DOI 登録を開始した。

#### (2) 入会説明会の開催

これまで、正会員の入会希望の申し出を受けて、個別に入会説明やデータ登録デモを行ってきた。平成 28 年度からは、入会説明会を開催し、入会対応業務の効率化を図った。説明会の終了後には、個別相談会も開催した。

<sup>5)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項1号

#### 4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務<sup>6)</sup>

##### (1) 「研究データ利活用協議会」の設立

「研究データへの DOI 登録実験プロジェクト」(実施期間：平成 26 年 10 月～平成 27 年 10 月)において醸成されたコミュニティを活用し、オープンサイエンスの実現に向けてさらなる検討を行っていくことを目的として、「研究データ利活用協議会」(RDUF: Research Data Utilization Forum)を平成 28 年 6 月 3 日に設立した。

JaLC の共同運営機関の 4 機関のほか、情報通信研究機構、千葉大学の 6 機関の「機関参加」、27 名の「個人参加」を得た。参加機関の積極的な取り組みにより、公開キックオフミーティング、RDA 参加報告会、公開シンポジウム(サイエンスアゴラ内)など計 6 回の研究会を開催した。

##### (2) JaLC メタデータのファイル提供を開始

JaLC にて登録された DOI の活用促進を目的として、JaLC に蓄積された約 350 万件の書誌データ等のファイルでの一括提供を開始した。

##### (3) JaLC web サイトの改修

JaLC web サイトを改修し、小項目毎に直リンクでポイントできるようにするなどの利便性の向上を図った。

— 以 上 —

---

<sup>6)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項5号